

令和 7 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般入試)

令和 7 年 2 月 22 日 (土) 実施

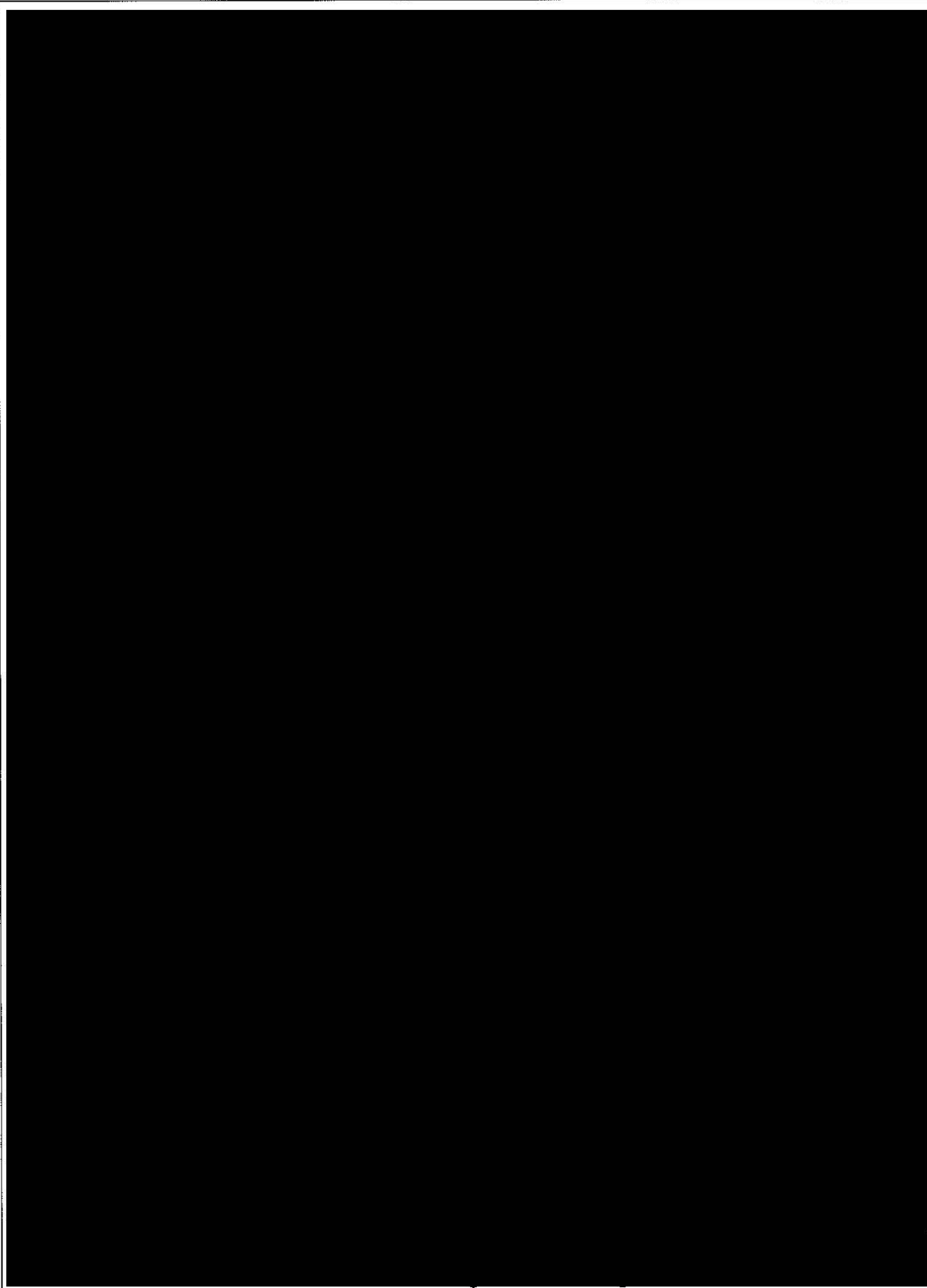
科 目 名
英 語

受 験 番 号	氏 名

ジャーナリズム学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

次の英文の概要を 400 字～800 字でまとめよ。その際に、新たに導入された規制の内容と目的を含めること。



出典：CNN (<https://edition.cnn.com/travel/mount-fuji-japan-visitor-cap-tourist-tax-intl-hnk/index.html>)

令和 7 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第 I 期入学試験 (一般入試)

令和 6 年 10 月 5 日 (土) 実施

科 目 名
英 語

受 験 番 号	氏 名

ジャーナリズム学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

次の英文の概要を日本語で 400 字以内でまとめよ。



出典：New York Times

(<https://www.nytimes.com/2024/07/18/us/politics/trump-speech-tonight-rnc.html>)

令和7年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般入試)

令和7年2月22日(土) 実施

科 目 名
専 門 科 目

受 験 番 号	氏 名

ジャーナリズム学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

以下の(1)から(4)のうちから1つ選択し、解答用紙に述べなさい。(1)から(3)を選択した場合は、①と②の両方を必ず解答すること。解答用紙には、選択した問題番号を()内に記入しなさい。

(1) ジャーナリズム研究領域の論述

① 日本の放送制度の特徴を、以下の用語を使って自由に論じなさい。なお、使用する順番は問いません。

[免許、民間放送(民放)、政治的公平さ]

② 選挙におけると SNS と伝統的なメディアの関係を、以下の用語を使って自由に論じなさい。なお、使用する順番は問いません。

[兵庫県知事選、公職選挙法、出口調査]

(2) アーカイブ研究領域の論述

① アーカイブを担う MLA(博物館・図書館・文書館)では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」等の法整備を受けて、障害者へのサービスを強化している。自身の研究対象とする施設(MLA のいずれか 1 つ)の立場で障害者へのサービスの現状と課題を具体的に論じなさい。

② 近年、「学習指導要領」等において、学校と MLA の連携が重視されている。その背景と意義について、自身が研究対象とする施設(MLA のいずれか 1 つ)の立場で具体的に論じなさい。

(3) スポーツインテリジェンス研究領域の論述

①「発育発達期におけるコーチング」において、心技体のそれぞれで留意すべき点について、以下のキーワードを参考に、具体的な種目を取り上げて説明せよ。

キーワード:発育発達、性差、コーチングスキル、育成、トレーニング

②「ハイパフォーマンスからライフパフォーマンスへ」について、以下のキーワードを全て使って説明せよ。

キーワード:ハイパフォーマンス、ライフパフォーマンス、コンディショニング、科学的エビデンス、トップアスリート、知見の還元、ライフステージ

(4) 事前に提出したあなたの成果物や職務実績について、どのような取材・調査をもとに、どのような「新しい発見」があるのかを、あるいはあなたの職務経験から導かれるジャーナリズムの課題について論じなさい。

※ (4) を選択予定の者は、必ず成果物・職務実績等を出願時に提出していることが条件です。

令和7年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅰ期入学試験 (一般入試)

令和6年10月5日(土) 実施

科 目 名
専 門 科 目

受 験 番 号	氏 名

ジャーナリズム学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

以下の(1)から(4)のうちから1つ選択し、解答用紙に述べなさい。(1)から(3)を選択した場合は、①と②の両方を必ず回答すること。解答用紙には、選択した問題番号を()内に記入しなさい。

(1) ジャーナリズム研究領域の論述

- ① 選挙期間中の表現活動について、立候補者の選挙活動と、マスメディアの選挙報道に分け、特徴を論じなさい。
- ② 調査報道と発表報道、それぞれの長所短所を、できるだけ具体的事例に言及しつつ論じなさい。

(2) アーカイブ研究領域の論述

- ① アーカイブを担う MLA(博物館・図書館・文書館)では、デジタルミュージアム、電子図書館、デジタルアーカイブなどのデジタルサービスの導入が進みつつあります。自身の研究対象とする施設の立場で、デジタルサービスの意義と課題を具体的に論じなさい。
- ② いわゆる「MLA 連携」について、自身が研究対象とする施設の立場で具体的に論じなさい。

(3) スポーツインテリジェンス研究領域の論述

- ① 「ジュニアユース世代(※)のコーチング」において、心技体のそれぞれで留意すべき点について、以下のキーワードを参考に、具体的な種目を取り上げて説明しなさい。

キーワード: 発育発達、性差、コーチングスキル、育成、トレーニング

※18歳までの年代を指す

- ② 「アスリートのコンディショニング」について、具体的な種目を取り上げ、以下のキーワードを全て使って説明しなさい。

キーワード: 超回復、ハイパフォーマンス、目標、リカバリー、ピリオダイゼーション、オーバートレーニング、栄養、トータルコンディショニング

(4) 事前に提出したあなたの成果物や職務実績について、どのような取材・調査をもとに、どのような「新しい発見」があったのかを論じ、そのうえであなたの職務経験から導かれるジャーナリズムの課題について論じなさい。

※ (4) を選択予定の者は、必ず成果物・職務実績等を出願時に提出していることが条件です。